

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社共同紙版ホールディングス
 コード番号 9849 URL <http://www.kyodopaper.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡司 勝美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理企画本部長 (氏名) 尾形 寛雄
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 03-5548-7521

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	6,765	—	47	—	33	—	11	—
20年3月期第1四半期	2,741	11.7	8	—	6	105.8	7	△54.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	1.68	—
20年3月期第1四半期	1.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第1四半期	14,697	—	2,957	—	20.1	445.13
20年3月期	8,167	—	2,214	—	27.1	469.22

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,957百万円 20年3月期 2,214百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,910	—	120	—	100	—	73	—	10.99
通期	27,560	161.6	209	391.5	160	765.8	119	—	17.91

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 3社(社名 河内屋紙(株)、はが紙販(株)、ファイビストオ) 除外 1社(社名(株)フォーレストエイト)

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(1)をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 7,353,443株	20年3月期 5,427,483株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 709,539株	20年3月期 708,598株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期 6,643,983株	20年3月期第1四半期 5,162,951株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成20年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、1株当たり当期純利益につきましては、平成20年4月1日付の合併に伴い増加した1,925,960株を加味して算出してあります。上記の予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のが国経済は、原油を中心とした諸資材価格の高騰から、景気の先行き不透明感が一段と増してまいりました。

一方紙業界におきましては、印刷用紙が輸出を中心に底堅く推移し、国内・輸出の出荷量は前年同期を上回りました。

かかる状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、本年4月1日の旧河内屋紙株式会社と旧はが紙販株式会社との経営統合により株式会社共同紙販ホールディングスとしてスタートし、経営統合効果を発揮できる体制の整備に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期の連結業績は、売上高6,765百万円となりました。

他方コスト面におきましては、経営統合に伴う一時的諸費用が加わりましたこと等から、営業利益47百万円、経常利益33百万円、四半期純利益11百万円となりました。

なお、参考として旧河内屋紙株式会社と旧はが紙販株式会社の前年同期の業績合計を掲記いたしますと、次のとおりであります。

(単位：千円)

	当第1四半期	前第1四半期		
		旧河内屋紙(株)	旧はが紙販(株)	合計
売上高	6,765,016	2,741,943	4,302,913	7,044,856
営業利益	47,115	8,037	67,337	75,374
経常利益	33,292	6,213	72,110	78,323
四半期純利益	11,144	7,887	66,682	74,570

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の資産の残高は、14,697百万円（前連結会計年度末8,167百万円）となり、6,530百万円増加いたしました。

負債の残高は、11,740百万円（前連結会計年度末5,953百万円）となり、5,786百万円増加いたしました。

純資産の残高は、2,957百万円（前連結会計年度末2,214百万円）となり、743百万円増加いたしました。

資産・負債の増加した主な要因は本年4月1日に旧はが紙販株式会社との経営統合により同社の資産・負債を受け入れたためであります。

なお、参考として旧はが紙販株式会社の合併時の資産と負債の状況を掲記いたしますと、次のとおりであります。

資産	
科目	金額（千円）
流動資産	6,845,159
固定資産	783,936
有形固定資産	140,034
無形固定資産	40,147
投資その他の資産	603,753
資産合計	7,629,095
負債	
科目	金額（千円）
流動負債	7,439,351
固定負債	68,630
負債合計	7,507,982

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月15日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間から、新たに設立した河内屋紙株式会社及びはが紙販株式会社並びに被合併会社の子会社であるファイビストオフィス株式会社を連結の範囲に含めております。

なお、前連結会計年度まで連結の範囲に含めておりました株式会社フォーレストエイトについては当第1四半期連結会計期間において清算手続を開始した為連結の範囲から除いております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定科目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。
また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 当連結会計年度よりたな卸資産の評価方法を移動平均法から先入先出法に変更しております。
この変更は、新しい在庫評価システムの導入を契機に仕入価格の変動をより適時に在庫評価に反映させるため、また、仕入割戻を当期の仕入高に対応させて各期の仕入単価を把握し、適切な原価管理を行うためであります。
この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,392千円増加しております。
- ③ 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	729,497	622,487
受取手形及び売掛金	5,620,040	2,514,688
たな卸資産	2,003,103	954,978
未収入金	816,355	276,839
その他	97,826	48,283
貸倒引当金	△101,030	△98,262
流動資産合計	9,165,793	4,319,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,510,905	1,485,521
機械装置及び運搬具	58,386	49,340
土地	1,614,678	1,532,447
その他	44,202	6,627
有形固定資産合計	3,228,173	3,073,935
無形固定資産		
のれん	790,750	—
その他	110,181	30,189
無形固定資産合計	900,932	30,189
投資その他の資産		
投資有価証券	682,645	484,409
出資金	218,951	2,310
その他	493,738	249,460
投資その他の資産合計	1,395,335	736,180
固定資産合計	5,524,442	3,840,304
繰延資産		
社債発行費	7,316	8,130
繰延資産合計	7,316	8,130
資産合計	14,697,552	8,167,450

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,403,034	3,047,487
短期借入金	1,650,000	1,650,000
賞与引当金	97,304	10,838
その他	174,920	88,115
流動負債合計	10,325,259	4,796,441
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
退職給付引当金	387,972	142,403
その他	26,909	14,400
固定負債合計	1,414,881	1,156,803
負債合計	11,740,141	5,953,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,381,052	2,381,052
資本剰余金	928,340	740,757
利益剰余金	12,705	△522,835
自己株式	△257,682	△257,365
株主資本合計	3,064,416	2,341,608
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△109,409	△127,402
為替換算調整勘定	2,404	—
評価・換算差額等合計	△107,005	△127,402
純資産合計	2,957,410	2,214,206
負債純資産合計	14,697,552	8,167,450

(2) 【四半期連結損益計算書】

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自平成20年4月1日

至平成20年6月30日)

売上高	6,765,016
売上原価	5,989,818
売上総利益	775,197
販売費及び一般管理費	728,082
営業利益	47,115
営業外収益	
受取利息	1,347
受取配当金	21,405
その他	5,433
営業外収益合計	28,187
営業外費用	
支払利息	11,164
手形売却損	12,511
その他	18,334
営業外費用合計	42,010
経常利益	33,292
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2,499
特別利益合計	2,499
特別損失	
固定資産除却損	588
事務所移転費用	20,246
特別損失合計	20,834
税金等調整前四半期純利益	14,956
法人税等	3,811
四半期純利益	11,144

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年4月1日期日で旧はが紙販株式会社より商号変更した株式会社はが紙販ホールディングスを吸収合併いたしました。これに伴い株式会社はが紙販ホールディングスの普通株式1株に対し当社の普通株式0.541株の割合をもって割当交付いたしました結果、当社株主資本はその評価額708,753千円増加いたしました。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,741,943
II 売上原価	2,485,156
売上総利益	256,786
III 販売費及び一般管理費	248,748
営業利益	8,037
IV 営業外収益	
受取利息	1,683
受取配当金	10,092
その他	2,635
営業外収益合計	14,412
V 営業外費用	
支払利息	10,298
手形売却損	3,049
その他	2,887
営業外費用合計	16,236
経常利益	6,213
VI 特別利益	
貸倒引当金戻入額	2,606
特別利益合計	2,606
税金等調整前四半期純利益	8,820
税金費用	932
四半期純利益	7,887